

母校この一年

学校の現状 (四月一日現在)

◆ 教職員関係

◆ 十八年度末人事異動

《転退職者》

土屋尚志(校長)・野崎英二・杉山由美子(教頭)・望月佳子(事務長)・辻信也・加藤吉行・平美紀子・西島ゆり・市川あや子・宮城幸史・藤池純之輔(教諭)・三輪達雄(主任技能員)・山本通利(副主任)・杉浦陽子・阿佐田和子・加藤秀一・原田政信・陳浩・島良行(非常勤講師)

《新任者》

甲野藤茂(校長)・真木万平・神山心一(教頭)・鈴木雅之(事務長)・堀江俊也・山本孝也・伊藤丈人・鈴木希奈・金親德行・中川孝・鈴木崇彦(教諭)・大倉勉(技能員)・辻信也・齋藤和子・林芝竹・程潔・櫻本太志・竹内久美子・櫻井則子(非常勤講師)・森揚子(事務員)

◆ 教職員構成

《全日制》

校長(1) 教頭(2) 教諭(38)
養教(1) 助手(3) 講師(9)
ALT(1) 事務部(8)

計63名

《定時制》

教頭(1) 教諭(7) 講師(2)
事務(1)

計11名

— 在校生関係 —

◆ 在籍生徒数 (五月一日現在)

《全日制》

一年生……245人(6学級)
二年生……203人(5学級)
三年生……195人(5学級)
計643人(男187・女456)

▽通学地区別生徒数

沼津市(347) 三島市(77)
熱海市(21) 伊豆の国市(23)
裾野市(18) 富士市(3)
清水町(82) 長泉町(32)
その他(2)

《定時制》

一年生……16人(1学級)
二年生……16人(1学級)
三年生……15人(1学級)
四年生……4人(1学級)
計51人(男16・女35)

主な行事 (十八・七十九・五)

《全日制》

七月 インターシップ(二年)
十月 合唱コンクール
授業公開
十一月 保育体験実習(一年)
芸術鑑賞・球技大会
十二月 修学旅行(二年)
サイパン・長崎二コース
二月 マラソン大会(千本浜)
三月 卒業式
四月 入学式
宿泊研修(一年)

《定時制》

五月 紫旆祭(体育祭・文化祭)
九月 東部生活体験発表

十月 安全学習
一月 東部定時制合同文化祭
五月 民間講師講座・紫旆祭

インターシップ

二年生の就職希望者を対象に、七月二十一日～八月九日まで、二～四日間で体験実習をしました。参加生徒数は九十四名、協力企業は二十八社でした。就業体験をとおりして多くの生徒が、社会で生活する上で挨拶など様々なマナーが必要だということを実感していました。同窓生の皆様方の企業でも、生徒の受入にご協力をお願いします。

合唱コンクール

近隣の高校では、授業時間数の確保に、行事の精選をすることが多いなか、本校では紆余曲折を経ながら、現在も伝統的な学校行事として続けています。昨年度の生徒の感想を紹介しますと、「春よ来い」を歌いました。優勝したいと朝早くから練習に取り組んできました。最初の頃はバラバラだったクラスが日毎に一つに纏まり、優勝という結果を得ることができてとても嬉しかったです。同窓生の皆さんには、どんな思い出が残っているでしょうか。

保育体験実習

園児との触れ合いを大切にしたい、生徒の感想を紹介します。

実習をやる前は、どんな性格の子か、どう接したらよいのか不安な気持ちと楽しみが混ざっていました。当日、園児と会ってみると不安な気持ちはなくなりました。純粋な姿にすぐに仲良くなれました。体験をとおして、自分も小さい頃は、こんなだったのかなあと感じました。

修学旅行

高校生活で楽しみの一つに修学旅行があります。現在、海外はサイパン、国内は長崎の二コースを用意して、希望によって行き先を決めています。

長崎に修学旅行に行くとき聞いてまず頭に浮かぶのが「原爆」という言葉でしょう。原爆資料館内で講話を聞いて強く心に残ったのは「教育の恐ろしさ、情報の恐ろしさ」です。小中学校で、「戦死ほど名誉なことはいない」と教えられていたのです。母は、「教育は洗脳と紙一重のところがある」と言いました。もう一つ広島・長崎の被害が小さいと報じられたり、日本軍が負けていることを報じなかったり。すべて正直に戦況を報じられたいらどうなっていたでしょう。とは言っても修学旅行は、平和学習だけではありません。地方の歴史や文化、人々に出会うことも楽しみです。四日間有意義なものとなりました。

(生徒会誌「紫旆」より抜粋)

活躍する在校生

◇全国大会出場◇

《全日制》

- ▽高等学校総合体育大会弓道競技団体(優勝)
- ▽全国高等学校情報処理競技大会個人(県優勝) 大川 修司(3)
- ▽全国高等学校ワイプ口競技大会個人(県優勝) 杉崎 鉄馬(2)
- ▽全国高等学校 I・T・簿記選手県大会団体(県2位)
- 個人(県4位) 大川修司(5位)
- 廣木大地(9位) 吉田 綾
- 新人戦団体(県優勝)

《定時制》

- ▽全国高等学校定時制通信制大会ソフトテニス団体(県2位)
- 個人(優勝) 小野 菜摘(2)
- 川瀬あずさ(2)

陸上競技

- 400メートル(県優勝)
- 400メートルH(2位)
- 石井 将司(2)

◇東海大会出場◇

- ▽高等学校総合体育大会弓道競技団体(準優勝)
- ▽国民体育大会 東海ブロック大会弓道競技会
- ▽高等学校吹奏楽コンクール

◇県大会◇

- ▽県高校総体弓道競技団体(優勝)
- ▽高等学校吹奏楽コンクール 大編成の部 金賞
- ▽全国高等学校珠算競技県予選 見取暗算 2位 坂倉祐佳(2)
- 読暗算 2位 長澤彩香(3)
- 読上算 3位 長澤彩香(3)
- ▽全国高等学校簿記コンクール 静岡県予選 個人 佳良 豊野涼太(3)
- ▽全国高等学校野球選手権県大会 ○1回戦 13-1 焼津水産
- 2回戦 4-5 掛川西

◇資格取得・その他◇

- ◆経済産業省主催
- ▽基本情報技術者試験
- ▽ソフトウェア開発技術者試験 大川 修司(3)
- ▽初級システム アドミニストラータ試験

内山翔平・廣木大地・日吉恵里 奈・渡邊悠人・水谷綾乃

以上情報ビジネス科ネットワークコースの三年生、昨年十月の合格者岩崎妃佐子・岩崎佑香・竹下夢子を合わせ有資格者は八人(コース七人)になった。

◆マイクログソフト社認定

- ▽マイクログソフト・オフィス・スペシャリスト試験
- エキスパート部門 11人
- スペシャリスト部門 17人
- 以上 電算機部員

新入生部員を除く、2・3年生全員が合格をした。

◆二〇〇七浜松ゆかたまつり

「浴衣柄デザイン画コンクール」

▽県教育長賞 小石川 豊(3)

県内から千三百七十五点の応募があり五十五点が入賞した。本校からは六人が入賞した。

◆第七回明石海人賞

校内短歌コンクール

▽最優秀賞

あたりまえがどれほど大事なものかふつと気付いて行く青い海 松廣 成美(2)

部活紹介

吹奏楽部

私たち吹奏楽部は、総勢七十人で活動しています。

昨年度は、六月の中部日本吹奏楽コンクール静岡県大会(優秀賞)



八月の全国吹奏楽コンクール(金賞) 県大会(金賞) 教育長賞・教育長賞(銀賞) 東海大会(銀賞)と、二年連続して東海大会へ出場しました。

ホッケー部

また、十一月に行われた全日本管楽合奏コンテスト(全国大会・銀賞)にも出場することができました。他にも、コンサートや地元地域・企業の要請を受けて演奏会も行いました。

今年(十二月二十三日(日))に定期演奏会を開催します。部員一同心を込めて演奏しますので、是非一度聴きにきてください。

女子ホッケー部は、県下で沼商にしかありません。従って練習試合等は県外への遠征となります。練習の効率を上げるためにも部員の確保が必要です。公式試合はいきなり東海大会から始まります。強豪の愛知・岐阜の高校に勝てるようになれば、全国大会へと進むことができます。常に夢を持って、毎日の練習に励んでいますので、応援よろしく願います。



- ▽今年(今年)の結果
- 0-1 向陽高校 (愛知)
- 0-12 各務野高校 (岐阜)

佐野 後藤 小齊 栗原 菊池 木村 川口 勝又 長田 大原 大島 小野 小澤 梅澤 植松 石塚 飯田 青木 高第七回 渡辺 湯原 山本 山本 山本 山田 山田 諸星 森山 桃井 室伏 水上 松本 増田 藤森 廣井 平原 野田 長倉 永井 谷口 田中
 祐二 幸彦 恭行 信二 修三 禎一 孝理 正治 和代 博美 寛治 一智 武男 修三 利男 三男 四十七名 晃男 光男 義三 康夫 泰一 舜一 肇宏 秀光 隆明 博道 矩夫 輝夫 正尚 義則 一則 晴子 久雄 明夫 士夫 惠子 金子

太田 小澤 白井 岩塚 石川 石井 池田 池田 飯田 飯田 伊倉 浅沼 高第八回 渡辺 湯山 山中 森中 望月 宮川 松本 堀越 堀井 日吉 一杉 原一 原一 長沢 富山 土屋 谷口 田中 高橋 高杉 高島 芹澤 鈴木 鈴木 杉本 杉本 杉本 庄司 嶋野 真田
 勝好 俱子 紀篁 幸夫 喜勇 守夫 章二 勝哉 貞夫 利行 八十三名 太郎 誠滋 重幸 進茂 治郎 庄次 幸雄 正芳 敏夫 時雄 志郎 益延 栄一 豊茂 晴彦 達男 研美 昇清 富司 三郎 善高 太郎 健二

西尾 名倉 豊竹 戸田 寺田 土屋 土屋 高田 高井 田村 芹沢 芹沢 鈴木 杉山 杉山 沢田 齊藤 佐野 佐野 佐藤 近藤 小松 小西 後藤 児玉 栗田 久保 九嶋 窪田 木村 木村 木村 菊間 川口 唐國 金澤 金刺 勝亦 勝又 片岡 加藤 加藤 大村
 治男 義明 正尚 健一 礼三 常彦 静彦 昭雄 利征 幸一 昇一 英輔 富司 修一 孝雄 嘉昭 恒勝 巨弘 安敏 弘子 準作 公雄 芳彦 貞夫 英雄 利一 重夫 清勝 一光 一豊 隆成 敏二 明夫 正佳 八優 孝彦 英夫

勝又 笠間 奥村 小野 小野 海野 白井 白井 池田 飯塚 浅見 青木 青木 高第九回 渡辺 渡辺 渡辺 若林 山本 山本 山本 山崎 山口 宮代 溝口 水口 水上 三好 三須 松田 増田 牧野 真野 堀川 古郡 藤本 藤本 福室 一杉 萩野 袴田 野中 野崎
 喜久 惠一 順昭 佳哉 則三 啓子 重夫 義朗 能紀 清三 一敏 次男 崇信 剛弘 敏夫 雅男 静久 輝佐 直行 正義 栄彦 敏裕 政子 敏隆 隆信 三已 一彦 秋信 明義 正義

芹沢 鈴木 鈴木 佐野 小松 小林 小永 後藤 金指 市川 居山 青木 高第十回 渡辺 渡辺 渡辺 山崎 森下 望月 宮代 水口 水口 町田 前田 古谷 古谷 袴田 奈木 鳥羽 露木 土田 玉井 田中 田中 鈴木 鈴木 杉山 下井 櫻井 小松 小池 勝間 田通 夫
 務雄 英計 滋子 吾春 利男 省二 信悟 二十二名 信雄 千秋 澄子 猷二 充仙 史之 智恭 尚志 昌治 幸雄 毅隆 和勇 竹昇 英夫 貞雄 松男 怜彦 一政 玲子 郁雄 武夫 伸寛 隆男 重忠 夫

齐藤 佐野 佐藤 佐藤 小松 小池 木内 叶子 金子 甲斐 甲斐 加藤 加藤 落合 長田 荻野 大庭 大木 小澤 小川 榎本 上松 植松 宇田 岩瀬 今関 稲井 石井 伊海 浅野 高第十一回 山口 谷田 森田 松谷 前田 藤井 浜野 中野 中川 高田
 伸枝 誠次 政幸 昌雄 敦之 清利 政祐 勝二 信吉 安夫 總勉 義昭 壽代 康宏 和敏 敏克 正行 眞純 一夫 勝博 紘忠 順堂 隆則 邦俊 一夫 輝明 俊郎 八郎 六十九名 策子 千宏 尚司 惠也 龍弘 達雄 弘雄 豐生 國生

石井 井原 青木 高第十二回 脇田 米沢 山本 山田 山田 山崎 山口 柳下 宮崎 光林 三須 眞野 古瀬 藤井 福山 平山 沼田 仲川 中外 露木 竹崎 高橋 芹澤 芹澤 芹澤 芹澤 芹澤 鈴木 鈴木 杉本 杉本 諏訪 庄司 坂本
 邦彦 愛尚 義五十五名 友義 明健 喜生 敏範 家昌 政美 昭行 安治 信之 勝義 幹男 芳典 眞子 浩造 茂久 一巳 壽篤 道男 清光 三郎 敏行 茂保 智彦 一昭 基夫 敬藏 佑洋 恭光 雄一 弘一 實

増山 廣瀬 土方 島山 野村 野村 中村 長川 中川 土川 竹下 高山 高杉 田立 鈴木 鈴木 鈴木 杉山 白野 佐野 古野 清野 北野 神戸 川瀬 金子 遠藤 内野 上野 池田 井上 青木 高第十三回 渡辺 渡辺 渡辺 若林 横溝 山本 村松 間部 松山 増田 藤曲 平松 石川
 隆男 仁馨 吉郎 千代 敏一 暢泰 彦郎 清夫 幸夫 古夫 幸雄 成治 邦親 進一 文恵 静治 幸一 貞直 滋子 和夫 大司 弘道 康夫 二十五名 良平 俊江 章太 鷹賢 明子 喜子 明子 克敏 光惠 喜忠 久幸 勝久

原貫 中山 中嶋 長島 中居 鳥居 土屋 田村 田村 田村 関中 鈴木 鈴木 鈴木 杉山 白野 佐野 古野 清野 北野 神戸 川瀬 金子 遠藤 内野 上野 池田 井上 青木 高第十四回 渡辺 渡辺 渡辺 若林 横溝 山本 村松 間部 松山 増田 藤曲 平松 石川
 康喜 順旦 保子 夫彦 清彦 宣雄 至巳 古夫 幸雄 成治 邦親 進一 文恵 静治 幸一 貞直 滋子 和夫 大司 弘道 康夫 二十五名 良平 俊江 章太 鷹賢 明子 喜子 明子 克敏 光惠 喜忠 久幸 勝久

青木 高第十五回 渡辺 山田 室伏 藤本 萩野 長橋 中村 常峯 芹澤 齐藤 齐藤 佐野 後藤 小林 木村 勝亦 勝又 鏡田 加藤 大内 岩崎 伊丹 青木 高第十四回 渡辺 渡辺 渡辺 若林 横溝 山本 村松 間部 松山 増田 藤曲 平松 石川
 和子 三十七名 正教 勇正 孝郎 勝美 直治 幸子 裕江 弘明 秀幸 君己 東一 貞直 滋子 和夫 大司 弘道 康夫 二十五名 良平 俊江 章太 鷹賢 明子 喜子 明子 克敏 光惠 喜忠 久幸 勝久

磯邊 石井 伊藤 伊藤 井原 高第十六回 山本 村山 原賀 長谷 長谷 長谷 中川 土屋 土田 谷口 田村 諏訪 鈴木 杉山 菅波 齐賀 佐野 佐藤 近藤 栗田 城所 川合 川合 唐國 影島 大島 大熊 内村 植松 宇佐 岩崎 石井 荒井 綾部 青木
 壽慶 巨生 瑞世 江子 三十二名 良子 之助 太郎 洋子 淑子 郁彦 正泰 知静 静代 善枝 江勝 英夫 幸子 恵子 眞文 功子 芳子 延子 重彦 敏隆 昭男 叙弘 宗孝 繁男 義雄 一讓 勝省 美

事務局から
第五十四回同窓会総会を開催
会計報告・活動計画など承認

第五十四回同窓会総会は一月二十一日、沼津キャッスルで三三〇人の同窓生が出席し、冬の寒い中会場は熱気に包まれ開催された。
本部より説明された活動報告、育英基金執行状況、会計報告、会計監査報告他が報告承認された。

今総会の記念講演は、「金花蟲の歌 歌人 明石海人」の演題で静岡県歌人協会会長の須永英男氏(高四回卒)が、明石海人の歌とその人柄・難病と戦った海人の人生を熱っぽく語った。

懇親会では、斉藤市長他の来賓を迎えて最高潮に達し、参加者は懐かしい思い出と来年の再会を誓いながら閉会となった。

◆退任◆
名譽顧問
小池政太郎(旧二十九回)
渡辺 新作(旧四十二回)
顧問
土屋 尚志(学校長)
相談役
野崎 英二(学校教頭)
杉山由美子(学校教頭)
望月 佳子(事務長)
会計監査
宇佐美文男(高十五回)

総会代表幹事
朝木 和彦(高十七回)
◆新任◆
顧問
甲野藤 茂(学校長)
相談役
真木 万平(学校教頭)
神山 心一(学校教頭)
鈴木 雅之(事務長)
会計監査
植松 勝一(高十二回)
総会代表幹事
勝亦 崇夫(高十八回)

常任幹事会・職員歓迎会

五月二十五日、第一回の常任幹事会と新旧先生の歓送迎会が沼津キャッスルで開催された。

幹事会は、活動報告・会計報告・監査報告等が満場一致で承認された。続いて会員名簿発刊準備・来年の総会・会報発行の計画、年会費納入状況、育英基金執行状況、支部活動等の報告があった。

その後、先生方の歓送迎会となり、和やかに親睦の宴が進んだ。最後に恒例の新旧校歌を全員で声高らかに謳い閉会した。

同窓会入会式

十八年度卒業生の同窓会入会式が二月二十八日に行われた。

本年度の入会生徒は、全日制一八一名・定時制十七名で、これら全卒業生数は二五、九一六名となった。

五月二十五日常任幹事会において承認いただいた諸会計の決算報告は左記の通り。

同窓会決算報告

五月二十五日常任幹事会において承認いただいた諸会計の決算報告は左記の通り。

Table with financial data for '沼商同窓会育英基金会計決算報告書' and '沼商同窓会基金会計決算報告書'.

Table with financial data for '沼商振興育英基金会計決算報告書' and '沼商同窓会経常費会計決算報告書'.

Table with financial data for '沼商高育英基金会計決算報告書'.

謹んでお悔やみ申し上げます
同窓会発展に多大な貢献をされた、名譽顧問のお二人が昨年逝去されました。
小池政太郎氏・十一月十一日歿(旧二十九回)
渡辺 新作氏・十二月十八日歿(旧四十二回)
また、創立一〇〇周年の記念講演をされた、池上 金男氏(作家 池宮彰一郎)・五月六日歿(旧四十回)

編集後記

沼商同窓会 会報委員会
委員長 田村幸一(高八回)

沼商同窓会会報「丸子の杜」第六号をお届けします。今号発刊に対し、同窓生の皆さん、甲野藤校長はじめ関係する学校の先生方お忙しい中ご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

今年に入って例年以上に生徒が大活躍され、今号では二〜三ページに特集として掲載しました。ここに改めてお祝い申し上げます。

○皆さんの声をお聞かせ下さい
会報は会員皆さんのものです。日常感じたこと、人生の貴重な体験、地域の同窓生との活動等、自由に投稿して下さい。

○会報等のお届けについて
来年より会報をはじめ同窓会関係書類のお届け先は、来春発行する新会員名簿の住所に送ります。変更時は事務局へご一報下さい。
○沼商同窓会事務局
〒四一〇九九一七
静岡県駿東郡清水町徳倉一二〇五
電話・FAX(兼用)
〇五五―九三二―五七四七
受付時間(月〜金・祭日を除く)
午前十一時〜午後三時まで